

1 学期終業式あいさつ

新型コロナウイルス感染症に 3 万 2000 人以上の人が感染し、1000 人を超える人が亡くなりました。7 月に九州を中心に襲った豪雨でも河川の氾濫により多くの方が被災され、尊い命が失われました。なくなられた方に哀悼の意を表すとともに、感染症や豪雨被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和 2 年度の 1 学期は新型コロナウイルス感染症対策により、長期にわたる臨時休業が行われ、予定した学校行事が延期又は中止せざるを得ないといったこれまでに経験したことのない事態となりました。また、高体連、高文連の各種大会、高校野球など 4 月から行われる予定だった地区大会、県大会など軒並み中止となるなど、特に 3 年生にとっては目標としていた大会がなくなり、閉塞感や絶望感を感じた人も多くいるのではないかと思います。

ただ、この様な状況にあっても皆さんは自分のやるべきことを見失わず、しっかり前を向いて日々の生活を送れたことは賞賛に値することだと思います。3 年生はこれから自分の進路を決める大切な時期ですから、この夏休みをどう過ごすかにかかってくると思います。この 1 学期、自分自身がどうだったか、成長できたか振り返ってみてください。やったように人は育ち、どう考えるかで人の生き方が決まります。いい加減に物事をやり続けた人は将来そんな社会人・職業人になるでしょうし、いつも楽をしようと思って過ごす人は、いいわけを考えながら常に楽をする道を探して行くのでしょうか。自分の考えが行動となって現れ、行動や考えがその人の人格を作っていきますので、いい考え、いい行動ができるように心がけてください。

多くの学校が 7 月 31 日を 1 学期の終業式としています。遅いところは 8 月 6 日や 7 日の学校もありますが、本校は他校より早い時期に終業式を設定しました。臨時休業で不足した授業を取り戻すために各学校は終業式を遅らせたり、2 学期の始業式を早めたりするなどの対応をとりました。本校が今日終業式にしたのは、臨時休業中の課題がきちんとできており、改めて授業を行う必要がないと判断したこと、3 年生が自分の成長のために自ら使える時間を確保したかったことが大きな理由です。学校の生活だけでなく社会生活、家庭生活の一つひとつが学びの場です。他校より長い夏休みをぜひ自分の成長のために計画的に活用してください。

8 月 24 日の 2 学期始業式には、成長した皆さんの姿が見られることを期待して終業式でのあいさつとします。

終業式後、生徒会から体育祭の色決め、文化祭でのクラス発表の発表順位決めが行われました。水が入ったペットボトルを振ると色が変わるという仕掛けで、体育祭の分団色が決定されました。みんなで協力しながら、工夫しながら、この困難を乗り越えて、いい“仁心祭”にしましょと、生徒会長からメッセージが寄せられました。

